

---

# 桜の木の下で

びち太

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

桜の木の下で

### 【Nコード】

N1151N

### 【作者名】

びち太

### 【あらすじ】

満月の夜、桜の木の下で起きた不思議な事件をきっかけに、主人公唯の周りで不思議なことが起きてくる。

恋愛あり、友情あり、不思議ありなお話の始まり始まり。

あの日貴方と出会えた奇跡に感謝して（前書き）

久しぶりに小説を書くので、色々と暖かい目で読んで頂けると嬉しいです！！

了解頂けた方はどうぞ お楽しみ下さい！

## あの日貴方と出会えた奇跡に感謝して

都心からは幾分離れた山奥に佇む、私立桜花学園。

この学園はスポーツ、芸術、勉学において優れている者を選抜して集め、さらに専門的に勉強することが出来る日本でも数少ない総合高校。

この高校には100年以上前から生徒、教師の中で伝わる言い伝えがある。

その言い伝えとは……

く桜の木の下で

花咲く4月あたしは今高校1年。

そして、桜花には高校2年から編入って形になるみたい。

つい先週桜花学園から入学推薦状が届いて。

親とも相談した結果、転校を決定。

今通ってる光琳高校でも沢山の友達が出来て、転校するのはすごい寂しいんだけど、あたしは行くことに決めた。

せっかくこの間の2月に受けた全国コンクールで認めてもらえたんだ。

もっと沢山勉強したいから!!

「えっと……寮の入口は……?」

桜花学園は全寮制の高校。

そして、今日は入寮日。

大きな荷物は送ったおかげで今あたしの手元にはボストンバックとキャリーケースの二つのみ。

……は良いんだけど。

「全員今日が入寮日なはずなのに、周りに誰もいないのはおかしいよね……」

バスを降りてから今まで、実は誰ともすれ違っていない。

今まではちよつと時間が早いからかな…とも思ったんだけど、門の前についてから30分。

「もうどうしたら良いのさーっ!!!!」

空に向かって大声で叫んでも返事がないとこんなに虚しい……ん?

上を向いたおかげで門の上が目に入り、そのままなにげなく顔を動かせすと、あり得ないところに……あり得ないところに……

「ひ、人……っ!?」

「んー?なんだ…せつかく良い気持ちで寝てたのに」

「ご、ゴメンなさい!まさかそんな所に誰がいるとは思わなかったので大声出しちゃって…」

上にいた人はどうやら門のすぐよこに生える大きな木の枝に腰かけて寝ていたらしく、私の声で上半身をゆっくり起こし、下を見下ろすようにこちらを見た。

うわぁ……カッコ良い人。

思わず声も出ずに木の上の人をじっと見つめてしまっていると、突然木の上の人(めんどくさいからこれからKさんで)が笑い出した。

「はははっ、なんか俺の顔に付いてる?そんなにじーっと見つめられると」

ヒョイッ!

「……照れちゃっしょー?」

「きゃっ」

Kさんが3m以上ある木の上から飛び降りてきた!!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1151n/>

---

桜の木の下で

2010年10月9日22時42分発行